

保育事項に就いて

目白幼稚園
和田 實

私は、嘗て、本誌上に於て、現在、法令上に規定された保育事項が適當な分類でないを云ふことを、論じたことがありましたが、何うも、徹底して居ない様に思ひますので、今一度之に就いて、論じて見たい。そして、讀者諸君の教を乞ひたいと思ふのであります。夫れに就いては、先づ保育を云ふ字の意味をはつきり定義して置いて、論旨を徹底させたいと思ひます。

元來、保育を云ふ言葉が、小兒科のお醫者さんの言葉であるを云ふことは、皆さんも、御存じのことでせうが、従つて其言葉の意味は幼兒の「保護養育」を云ふ意味のものであることは、當然のことではありますが、然るに、吾々の使つて居る保育を云ふ言葉の意味は、單に、保護養育するばかりでなく、之を教育することを、意味して居るのであります。否、時には寧ろ、養育を云ふことを第二義とし、教育を第一義とする位に考へて居るのであります。之に就いては面白い話があります。嘗て、某醫學博士の御紹介で、某官廳が所有される米國の保育狀況の實寫映畫を見せるを云ふことでしたので、私の知人なごも、大に期待して、見に行つたをうでしたが、見た所の活動寫眞は、悉く、育兒養育に關したもので、おむつの當て方、取り換へ方、牛乳や母乳の呑ませ方、「抱っこ」の仕方、入浴のさせ方云ふ様な譯で、徹頭徹尾お醫者さんの範圍に屬する保護養育の問題に關するものばかりで、幼稚園の教育狀況も云ふ様なものは一枚もなかつたを云ふことでした。是なごも、明に、「保育」を云ふ言葉の意味の二様に使用されて居る所から來たところの行き違ひで、紹介した

醫學博士は保護養育を主とする醫學的衛生的に參考さされる育兒上の寫眞を見せ様としたのであつて、お醫者さんとして、決して、間違つては居らぬのでありますが併し見せて貰はふとした人々は、勿論、以上の様な意味ではなく、我「幼兒教育」の參考となる可き米國幼稚園の教育狀況を見られるものと思ひ込んで居つたので、案に相違した寫眞の實際に、大に失望した云ふ様なことになつたのであります。是なき、明かに、用語の意味を明確に、意識して居ない所から來る誤謬で、若し、此様な會を催す主催者に、「保育」の用語に、二様の使ひ方があることを意識して、お醫者さんの使はれる言葉に我幼兒教育者間に使はれる言葉とは、同じ「保育」云ふ言葉でも、一様でない云ふことを知つて居つたならば此様な間違を起さなかつたらうと思ふのであります。

話は餘談になりましたが、兎に角、斯様な譯で、吾々の使つて居る保育云ふ言葉は幼兒教育云ふ意味で、決して、お醫者さんの使はれる様に、單に、體育的にのみ考へては居らぬのであります。それですから、保育云へば、直に、幼兒教育と解さねばならず、「保育事項」云へば「幼兒教育の諸事項」即ち「幼兒教育の諸材料」と解釋せねばならぬことなるのであります。

斯様に解釋することに困つて、更に改めて、今一度、法令の條文を見直して見るこゝ。

保育事項は(幼兒教育事項は)談話、唱歌、觀察、手技、遊戲等とす。と書いてあることが、可笑しく感ずることになるではありませんか。何故かと申すに、談話、唱歌、觀察、手技、遊戲等と如何にも澤山の事項を含むで居る様に見えますが、之を總括すれば廣い意味で云ふ「遊戲」と云ふ言葉に一括されるものではありませんか、仍で、之を云ひ換へれば「保育事項は遊戲とす」となつて仕舞ふではありませんか。従つて、法令上では、保育事項としては遊戲と云ふ一事項の外、認め居らぬことになるではありませんか。勿論、法令上には、「行儀を躰げよ」とか「善良なる性情を涵養せよ」とか云ふこと

が、保育事項以外に書いてはありますが、是等のものを保育事項即ち幼児教育事項としては認めて居ないのであります。

或は、賢明なる讀者は、「夫れは當り前ではないか、是等、行儀とか性情とか云ふものは主觀的形式的のもので、幼児の身體を離れて存するものではない。従つて教育材料ではない。故に、保育事項でないのは當然の「ことだ」云はれるかも知れない。誠に、御尤ものことであるが、併し、反問したい。「果して然らば、是等の行儀や性情は何に因つて賤けられるか」、「遊戯事項のみに因つて、行儀の賤けや性情の涵養が出来るだらうか」云ふことである。勿論、遊戯に因つて或度迄は賤も出来れば性情の涵養も出来るに相違ない。併し、賤け方の全部が、性情の全部が遊戯に因つてのみ賤けられ涵養せられるものでないことは云ふ迄もないでせう。何ごなれば遊戯生活の未だよく發展しない様な幼稚な時期に於ても既に規律、習慣云ふものは相當に賤げる必要があるからであります。若し、遊戯に因つてのみ、教育されなければならぬとすれば、遊戯的生活の發展しない中は教育は全く行はれぬことになつてしまふことになります。こんな不都合なことはないでせう。然らば、遊戯以外の教育事項は何でせう。遊戯に因らないで、行儀の賤は何であるか云ふことです。斯うなるを、吾々は遊戯以外に、尙まだ、教育事項がなければならぬと云ふことを思はねばなりません。然うするに、何うしても、吾々は、改めて、幼児の生活其ものを見直す必要があります。

抑々、幼児の生活云ふものは如何様に分類されなければならぬか云ふに、吾々は次の三つの方面を考へさせられます。

一、日常の衣食住に關する生活 二、遊戯生活 三、其他の生活

分類的仕方は色々あるでせうが、兎に角、遊戯生活以外に、まだ、色々の生活がありませうすれば、夫れ等の生活も、當然遊戯生活と同じ様に、教育の對象でなければならぬことは當然のことではありませんか。何ごなれば、教育云ふ仕事は遊戯生活を支配することに因つて、其一部の目的を達することが、出来るものならば、遊戯と同格に分類される其他の生

活に因つても、或方面の教育目的を達するこゝが出来るに相違ないこゝは、別に困難な論理ではないと思ふのであります。

然るに法令では遊戯事項だけを、保育事項として掲げただけで、其他の教育事項を保育事項と見做さないのでありますから、不都合な事ではありませんか。是は何うしても法令を改正して適當な保育事項を示さなければならぬと思ひます。

或は、云ふ人があるかも知れぬ。法令には「等」云ふ字が使つてある。是は五つの保育事項の外に、まだ保育事項のあるこゝを意味して居るではないか、と併し、文章の構成上から考へて、

「談話、唱歌、觀察、手技、遊戯等」との「等」の字は、前に並べた五つの事項が遊戯(廣い意味)事項の分類以外の何物でもないこゝから押して、遊戯以外のものを指して居ることは思へないのが當然ではありませんか、例へば「鯉、鮎、鰻等」と云へば、是等の字は矢張、魚類を意味するのが當然であり、「机、椅子、本箱等」と云へば、此等の字の意味は尙、家具什器の類を指して居るこゝ解するのが、當然ではありませんか。して見れば「談話、唱歌、觀察、手技、遊戯等」と云ふ條文は徹頭徹尾、遊戯の分類に過ぎないので、遊戯以外の生活は少しも含んで居らぬこゝになり、従つて、保育事項としては遊戯以外の生活を全然除外したこゝになるではありませんか。是は、不都合なこゝでせう。つまり、私共の考へ方から云ふと、保育事項と云ふ廣い意味の言葉を擧げて、其内容を列擧して説明せんとするのに、單に、一方面の内容を細かく、列擧するに止まつて、他の方面を全く閉却したと云ふこゝになると思ふのであります。是は、一概念の内容を完全に論理的に分類しないこゝから来る誤謬で、物を研究するこゝには慎まねばならぬ論理的缺點であります。

斯様な次第ですから、「保育事項」は、呼び掛けて、其内容を説明しやうとするならば、幼児の生活の全方面に涉つて適當な分類を試みて、之を掲げなければならぬと思ふのであります。

或は、又、云ふ人があるかも知れません。幼稚園に於ける保育事項は學校に於ける學科の如きものであるから、學校の

教育事項を以て學科のみを擧げて其他の訓練事項を擧げてなくとも差支ない様に、幼稚園でも、遊戯事項のみを上げて、其他を上げなくとも、不都合はないではないか、云ふ人があるかも知れません。是は飛んでもない間違つた考へ方です。斯ふいふ考へ方をする人は、學校を幼稚園と云ふものを、全然同性質のものを見て居るのですが、事實、學校を幼稚園とは其根本の性質に於て異つて居ることを認めなければなりません。

元來、學校を云ふものは「教授」を中心として、教育をしようとするものであるのに、幼稚園は教授を云ふことを度外して、單に、幼兒をして、幼兒生活其ものを、充分に、満足させることに因つて、教育しようとするものであります。従つて、一方は學術の教授に因つて教育しようとして、必要な學科を羅列して居ますが、一方は單に、其生活を生活させようとして居るに過ぎないので、其教育事項は、生活の分類に過ぎないのであります。従つて、保育事項は幼兒生活の分類であつて、決して、教授學科ではありません。よく、父兄などで、斯様な間違つたことを云々するものがあるのは止むを得ませんが、保育事業に従事する人であつて斯る間違つた考へを持つて居る人のあることは慨嘆に堪えません。然も、地方保育界の指導の位置に居る人で、斯る誤謬に陥つて居る人が、往々にしてあるのは、我保育界に其人のないを示す様なもので、如何にも残念なことであります。尤も、小學校の教育も、近來、大部、生活主義が流行して來て、國語生活、手工生活、遊戯生活など云ふ言葉が、小學校の先生方に論議されて居るのを聞く様に、學校教授時間の以外に於ける兒童の生活に就いて、段々、注意される様になつては來ましたが、まだ、一般には教授一點張り、教授即ち教育、若しくは「教授なければ教育なし」を云ふ思想で、満ちて居ります。之に反して、幼稚園を云ふものは、決して知識の授與を云ふことのみ没頭する様なことはないであります。斯様に、幼稚園を學校とは根本に於いて、其性質を異にして居るのであります。従つて、幼稚園保育事項を學校に於ける學科とは全然、性質を異にするものであります。